

コロンビア月例報告（8月分）

経済情勢

2015年9月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

- 31日から9月4日までの間、東京にて日・コロンビア EPA 交渉第13回会合が開催された。
- 12日、FNC 次期会長選挙に係る臨時総会において、ロベルト・ベレス前在京コロンビア大使が FNC 新会長に選出された。
- エコペトル社は、Foz do Brasil 鉱床・FZA-M-320 地区の開発に関連して、JX 日鉱日石開発と提携した旨発表した。

【本文】

II 主な出来事

<国内情勢>

(1) 経済見通し（19日、当地紙報道）

Fedesarrollo（シンクタンク）が実施した金融調査によれば、2015年の経済成長率の見通しは2.8%であり、同年のインフレ率の見通しは4.2%であった。

(2) コロンビアコーヒー生産者連合会（12日及び13日、プレスリリース及び当地紙報道）

12日、FNC 次期会長選挙に係る臨時総会において、ロベルト・ベレス前在京コロンビア大使が FNC 新会長に選出された。

(3) 輸入製品の関税免除（13日及び14日、プレスリリース及び当地紙報道）

カルデナス財務・公債相は第71回 ANDI（コロンビア工業連盟）定例総会において、15日から2年間、コロンビア国内で製造されていない輸入製品に係る関税免除品目を現行の3,490品目から3,623品目に拡大する旨発表した。

<対外経済関係>

(1) 対日 EPA 関連（30日及び31日、プレスリリース及び当地紙報道）

31日から9月4日までの間、東京にて日・コロンビア EPA 交渉第13回会合が開催された。本会合では、実質的な合意に到っていないマーケットアクセス及び原産地規則の各分野について交渉が行われた。

(2) 対日関連（24日及び26日、当地紙報道）

コロンビア貿易振興機構（PROCOLOMBIA）、コロンビア農牧庁（ICA）及び在京コロンビア大使館は、コロンビア産ピタヤのアジア市場開拓に向けて努力しており、コロンビア産ピタヤを日本に輸出することは生産者にとって非常に良い機会である。また、日本は健康増進、安心・安全な食品を好む傾向が強いことから、今後の輸出拡大が期待できる。

エコペトル社は、2013年5月にブラジル国家石油・天然ガス・バイオ燃料監督庁（ANP）実施による第11次石油鉱区入札での落札案件であるFoz do Brasil 鉱床・FZA-M-320地区の開発に関連して、JX日鉱日石開発と提携した旨を発表した。

（3）対米関連（21日、当地紙報道）

中銀は、対米FTA発効後、米国の対コロンビア直接投資が83.25億ドルに上り、これまでの対コロンビア直接投資額1,430億ドルのうち米国は約20%を占めている旨を発表した。

（4）対エクアドル関連（20日、当地紙報道）

エクアドル政府は、コロンビア・ペソ安の影響を受けているコロンビア国境のトゥルカン市等に対して同影響を緩和する政策を立案する旨を発表した。

（5）対中米北部トライアングル（グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス）関連（28日、当地紙報道）

マリア・サラスティ・コロンビア商工観光省次官は、中米北部トライアングルとの間で、化粧品、製鉄、自動車及びゴム製品に係る72製品について関税を撤廃することで合意した旨を発表した。

<経済指標>

（1）経済活動全般

（ア）実質工業生産指数（DANE発表）

6月の実質工業生産指数（加工コーヒー豆を除く）は前年同月比+1.5%であった。

（イ）実質小売売上高指数（DANE発表）

6月の実質小売売上高指数は前年同月比+5.1%であった。

（ウ）消費者信頼感指数（Fedesarrollo発表）

7月の消費者信頼感指数（ICC）は、2.6%と前月（14.7%）を12.1ポイント下回り、前年同月比では24.0ポイント下回った。

（2）産業動向

（ア）原油生産量（鉱山・エネルギー省発表）

7月の石油生産量は日量94.5万バレルであり、前年同月比▲2.67%となった。なお、10ヶ月振りに日量が100万バレルを下回った。

（イ）コーヒー

（i）生産（コーヒー生産者連盟（FNC）発表）

FNC加盟コーヒー生産者による7月のコーヒー生産量は146.3万袋（1袋=60kg）となり、前年同月比で18.4%増加した。

（ii）価格（国際コーヒー機関発表）

8月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド=1.47ドル（前月は同1.45ドル、前年同月は同2.12ドル）であった。

（3）物価・雇用（DANE発表）

（ア）物価

7月の消費者物価上昇率は+4.46%（前年同月比、以下同）、生産者物価上昇率は1.24%であった。

(イ) 雇用

7月の全国平均失業率は8.8%と、前年同月の9.3%より0.5ポイント改善した。また、主要13都市の平均失業率は9.0%と、前年同月の9.9%より0.9ポイント改善した。

(4) 貿易収支 (DANE 発表)

6月の貿易収支 (FOB) は、8.14億ドルの赤字であった。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比▲31.5%の32.18億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比▲14.3%の42.21億ドルとなった。

Ⅲ 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	2014/6	2015/4	2015/5	2015/6
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	▲0.6	▲3.6	▲3.9	1.5
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	▲2.4	▲2.6	▲2.0	3.2
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	2.2	▲1.0	2.7	5.1
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	186.5	239.2	158.3	231.8
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	14/7	15/5	15/6	15/7
(ア) 全国平均	9.3	8.9	8.2	8.8
(イ) 主要13都市平均	9.9	9.6	9.7	9.0
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	14/7	15/5	15/6	15/7
(ア) 前月比	0.15	0.26	0.10	0.19
(イ) 前年同月比	2.89	4.41	4.42	4.46
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	14/8	15/6	15/7	15/8
	4.50	4.50	4.50	4.50
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	14/8	15/6	15/7	15/8
(ア) 月初	1,878.75	2,533.79	2,598.68	2,862.51
(イ) 月末	1,918.62	2,585.11	2,866.04	3,101.10
(ウ) 最高値	1,935.04	2,623.66	2,866.04	3,208.37
(エ) 最安値	1,873.65	2,523.00	2,598.68	2,862.51
(6) 株式指数COLCAP (単位：ポイント，出所：COLCAP)	14/8	15/6	15/7	15/8
(ア) 月初	1,693.06	1,301.17	1,313.53	1,298.76
(イ) 月末	1,771.18	1,326.25	1,317.24	1,246.59
(ウ) 最高値	1,771.18	1,333.75	1,326.44	1,298.76
(エ) 最安値	1,693.06	1,301.17	1,293.07	1,149.53
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	14/6	15/4	15/5	15/6
(ア) 輸出額 (FOB)	4,672.5	3,212.3	3,359.3	3,218.1
(イ) 同 年内累計	27,973.5	12,654.4	16,013.7	19,259.5
(ウ) 輸入額 (FOB)	4,736.5	4,251.2	4,230.2	4,032.5
(エ) 同 年内累計	29,162.3	17,714.4	21,944.5	25,977.0
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	14/6	15/4	15/5	15/6
	274.1	332.7	342.7	376.9
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	14/8	15/6	15/7	15/8
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,727	8,189	8,212	8,141
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：ECONOMETRIA)	14/7	15/5	15/6	15/7
(ア) 単月	28,459	21,532	21,835	24,243
(イ) 年内累計	177,106	124,710	146,545	170,788

(了)